

法華寺だより

令和5年11月13日 243号

小松原法難会

突然の襲撃に日蓮聖人は、榎の大木を背に数珠一



つで東条景信に立ち向かうも既に眉間に一太刀。更に二の太刀を浴びせようとする景信も突然の落馬。弟子の鏡忍坊や工藤

吉隆らも討たれるなど大きな犠牲を払った(文永元年1264年11月11日)小松原の法難。聖人が被った最大の法難と言われております。後に鏡忍坊や工藤吉隆の遺児らによる鏡忍寺が建立され今日に至っております。

日蓮宗のお経

普門品偈 ①

普門品偈は、ふもん観世音菩薩かんぜおんぼさつ普門品ふもん第25のだい偈門げもんです。法華経のなかでもこの章は、天台宗や真言宗、禅宗でもよく読まれ「観音経」と呼びならわされる。

せそんみょうそうぐ
世尊妙相具
げむじん
偈答無尽意

がこんじゅうもんび
我今重問被

ぶつしがいんねん
仏子何因縁

いかんぜおん
名為観世音

ぐそくみょうそう
具足妙相尊

無尽意菩薩がお釈迦様に申されました。お釈迦様は仏らしい立派なお姿をしておられ、全てをお見通しです。私はいま、さらに観世音菩薩について伺わせていただきます。菩薩をどういう理由で「観世音」と名付けられたのですか。立派なお姿をされたお釈迦様は、詩のかたちにして無尽意菩薩にお答えになられました。

今月の聖語

比より
 かい わた
大海を巨いて
 ど くに
佐渡の国に
 いた ほつ
至らんと欲す
 日蓮聖人ご遺文
 どもり ごしよ
 「寺泊御書より」

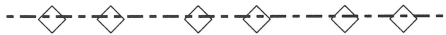
= 覚 悟 =
 このお言葉には幕府の命に従ってやむく赴くのではなく、むしろ死を覚悟した先には仏の命に従い法華経の教えを体現しようとする不動の信念が込められていると読み解かれます。
 「艱難汝を玉にする」艱難を恐れぬ覚悟が自らを磨く源になるとよく言われます。
 当時、佐渡流罪は死罪と同等の扱いでした。

10月14日(御逮夜法要)・15日(法話、お会式法要) 終了しました

管内の各住職等が列席し、専任布教師の倉橋上人のお説教を拝聴出来るなど今年のお会式も恙なく終えることが出来ました。是れも団信徒各位や布薩会様・婦人会様の皆様の諸々のご奉仕が有ったの事。感謝の気持ちで一杯です。

お会式お供物寄進者

- 高根繁子様 お供料 山崎一裕様 餅米 引地能将様 餅米 布薩会様 餅米
- 婦人会様 リンゴ 藤川隆子様 生花一对 梅本俊夫様 ペットボトル



今年も、12月8日の釈尊成道会で大きな行事が終わりとなりますが、これからは何かとよろしく願います。

それにしても、高齢者などによる交通事故が多すぎませんか

ウクライナ戦争に加えてイスラエル等々での紛争、第三次世界大戦が起きる恐れという説さえも。生命財産が互いに尊重されなければならないはず。一粒の米さえ多くの人の汗と知恵の賜と感謝する毎日であってほしい。